

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】令和 4 年 7 月 6 日(2022.7.6)

【公開番号】特開 2021-31900(P2021-31900A)

【公開日】令和 3 年 3 月 1 日(2021.3.1)

【年通号数】公開・登録公報 2021-011

【出願番号】特願 2019-151108(P2019-151108)

【国際特許分類】

E 0 4 G 2 1 / 1 8 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

【 F I 】

E 0 4 G 2 1 / 1 8 C

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 6 月 28 日(2022.6.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【 0 0 5 9 】

図 1 2 に示されるように、ナット 4 5 は、第 1 傾斜面摺動部材 2 0 および第 2 傾斜面摺動部材 3 0 が貫通孔 4 に挿入された後に、第 2 基端部 3 2 に取り付けられるとともに雄ネジ部 3 2 2 に螺合される。ナット 4 5 は、図 1 2 に示されるように、第 2 傾斜面摺動部材 3 0 側の面の外周縁が、スプライスプレート 6 の外側面 6 2 に当接する。また、複数の貫通孔 4 の位置合わせがされた後に、ナット 4 5 は第 2 基端部 3 2 から取り外される。ナット 4 5 が取り外された後に、第 1 傾斜面摺動部材 2 0 および第 2 傾斜面摺動部材 3 0 が複数の貫通孔 4 から引き抜かれる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

30

【補正対象項目名】0 0 6 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 0 】

上述したように、幾つかの実施形態では、上述した第 2 傾斜面摺動部材 3 0 は、例えば図 1 1、1 2 に示されるように、第 1 傾斜面摺動部材 2 0 および第 2 傾斜面摺動部材 3 0 が貫通孔 4 に挿入されている状態において、第 2 傾斜面摺動部材 3 0 の基端側に設けられ、構成部材 3 の貫通孔 4 が形成された面（外側面 6 2）に当接する上述したストッパ部材 4 3 を有している。

【手続補正 3】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 1 】

上記の構成によれば、ストッパ部材 4 3 が構成部材 3 の貫通孔 4 が形成された面（外側面 6 2）に当接した状態で、第 1 傾斜面摺動部材 2 0 を引っ張ると、第 2 傾斜面摺動部材 3 0 は基端側に設けられたストッパ部材 4 3 により引張方向への移動が制限されるため、仮にストッパ部材 4 3 が第 2 傾斜面摺動部材 3 0 の基端側に設けられていない場合に比べて、第 1 傾斜面摺動部材 2 0 の第 1 傾斜面 2 3 および第 2 傾斜面摺動部材 3 0 の第 2 傾斜面

50

３３に引張力 $F$ を大きく作用させることができる。第１傾斜面２３および第２傾斜面３３に作用する力が大きいと、第１傾斜面摺動部材２０および第２傾斜面摺動部材３０が他方の傾斜面（第１傾斜面２３、第２傾斜面３３）に沿って円滑に摺動するとともに、構成部材３を円滑に動かすことができるので、貫通孔位置合わせ治具１による複数の貫通孔４の位置合わせの作業効率を向上させることができる。

10

20

30

40

50